

資料編



【令和4年度の実践】

資料1	指導計画	P 1 ~ P 3
資料2	今回の実践についての経緯と用意した資料について	P 3
資料3	授業で活用した資料やワークシート	P 4 ~ P 8
資料4	手立ての有効性に関する考察	P 9 ~ P 11

【令和3年度の実践】

資料5	前年度の実践	P 11 ~ P 14
資料6	前年度の児童の事前・事後アンケート	P 14 ~ P 16
資料7	前年度の実践の手立て	P 16 ~ P 20
資料8	成果と課題	P 20

＜令和4年度の実践＞

資料1 指導計画

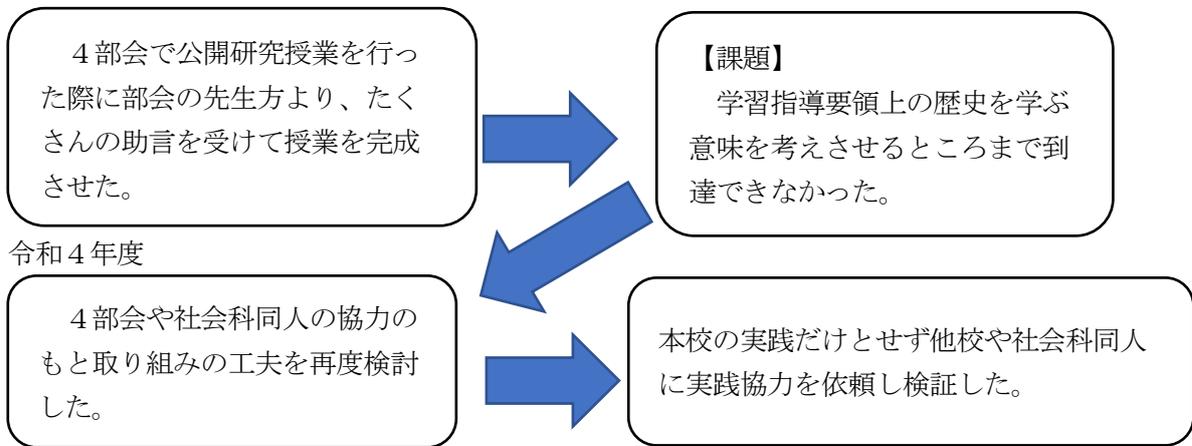
学習過程	時配	学習内容と学習活動		評価規準（評価の観点・評価方法）
見出す	1	歴史上の主な事象	<input type="radio"/> 地域の歴史事象 <input type="checkbox"/> 自分たちの生活との関わり	当時の世の中の様子や聖徳太子の行った政治に着目して、問いを見出している。 <small>（思考力、判断力、表現力等・ノート・発言）</small> 聖徳太子はなぜ冠位十二階や十七条の憲法をつくったのか。またその政治の意志が誰にどのように受けつがれていったのかについて学習問題をつくり、年表をもとに調べる予想や学習計画を立て、解決の見通しをもとうとしている。 <small>（学びに向かう力、人間性等・ノート・発言）</small>
		聖徳太子はどのような国づくりを目指したか調べる。 ・中国を統一した隋の様子を調べたり、聖徳太子が遣隋使を派遣した目的について話し合ったりする ・随書を基に遣隋使が一度失敗していることを抑える。 ・最初の遣隋使の失敗を受けて聖徳太子が行った政治について調べ、学習問題をつくる。 ・中大兄皇子や聖武天皇の働きを調べる学習計画を立てる。		
自分で取り組む	2	蘇我氏はどのように力をつけ大化の改新がどのような影響を及ぼしたか調べる、 ・蘇我氏の行ったことを十七条の憲法をもとに資料から読み取る。 ・中大兄皇子と中臣鎌足らがどのような政治を行ったのか調べる。 ・律令や都から運ばれてきた各地の主な産物について調べ、中国の政治の日本への影響を話し合う。	<input type="radio"/> 山邊郡印からわかるように、地域でも律令制度が確立していた。 <input type="checkbox"/> 現代の政治の仕組み(法律や租税)にもつながっている。 <input type="checkbox"/> 今も昔も、税に苦しむ人がいた。	必要な情報を集め、読み取り、大化の改新による政治の改革により、天皇の力が強くなり天皇中心の政治が進められたことを理解している。 <small>（知識及び技能・ノート・発言）</small>

	1	<p>聖武天皇は仏教の力で国を治めるためにどのような取り組みをしたか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の平城京の様子や地方の人々のくらしの様子について調べる。 ・聖武天皇のころの主なきごと（日本災害辞典の資料などから、災害の多さを調べる。）や天皇が行った政治について調べる。 	<p>○千葉県にも国分寺が建立されていた。</p> <p>□仏教に由来する文化（初詣、節分、お盆）や言葉（挨拶、我慢）など我々の生活に多数根付いている。</p>	<p>必要な情報を集め、読み取り、全国に国分寺をつくらせた理由や全国に国分寺をつくらせた聖武天皇の力の大きさについて理解している。</p> <p><small>（知識及び技能・ノート・発言）</small></p>
	1	<p>大仏をつくるためにどのようなことが起き、造られたか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大仏の大きさや、大仏造営への聖武天皇の願いについて話し合う。 ・どのように大仏が造られたのか調べる。 	<p>○日本寺は聖武天皇の勅詔と光明皇后の言葉を受けた行基によって、725年開山</p> <p>○釈迦如来像（飛鳥・奈良）</p> <p>○市原にも奈良の大仏がある。</p> <p>□東大寺の方の話を参考に書く。</p> <p>□参拝する人の願いは、現在も変わらないものがある。</p> <p>東京湾観音等、近年作られた大仏もある。</p>	<p>必要な情報を集め、読み取り、大仏造営には、人々を救いたいという聖武天皇の願いがあったことや当時の技術や国力を結集した国家的大事業であったことを理解している。</p> <p><small>（知識及び技能・ノート・発言）</small></p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・遣唐使は、どのようなものを日本にもたらしたのか調べる。 ・聖武天皇が唐から招いた鑑真の活躍について調べる。 ・この頃日本は大陸との交流により、どのようなことを学んだのか話し合う 	<p>○鏡という、奈良時代に中国から伝えられた楽器が鉦子に伝わっている</p> <p>□唐招提寺の方の話を参考に書く。</p> <p>□当時、鑑真とともにやってきた宝物は今でも大切に保管されている。</p> <p>□今でも漢方薬がある。</p>	<p>必要な情報を集め、読み取り、奈良時代には、都と地方の生活の差が開いていること、遣唐使や鑑真などの活躍により、大陸や仏教の影響を受けた文化が栄えたことを理解している。</p> <p><small>（知識及び技能・シート・発言）</small></p>
広げ 深め	1	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで調べたことを想起し、シートにまとめる 		<p>必要な情報を集め、読み取り</p> <p>奈良時代には、遣唐使や鑑真などの活躍により、大陸や仏教の影響を受けた文化が栄えたことを</p>

る			<p>理解している。</p> <p>(知識及び技能・シート・発言)</p> <p>天皇中心の国づくりの経過をふり返ったり、それぞれの人物の働きを考えたりして、この頃の世の中の様子を考え、表現している。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等・シート・発言)</p>
---	--	--	---

資料2 今回の実践についての経緯と用意した資料について

令和3年度



研究対象： 八街市立八街東小学校 (A校) 6年1組 25名
八街市立朝陽小学校 (B校) 6年生 78名

※ コロナウィルス感染症に伴い事後アンケートについては、調査人数が違うためパーセンテージで表示している。

授業にて使用した資料

1	・聖徳太子の肖像画・法隆寺画像・紙幣資料・冠位十二階・十七条の憲法
2	・中大兄皇子と中臣鎌足肖像画・政治の仕組み(資料集)
3	・木簡・都へ運ばれた主な産物図・山邊郡印
4	・聖武天皇の肖像画・聖武天皇の年表・国分寺の設置がわかるもの・日本災害辞典
5	・行基の肖像画・東大寺の大仏の大きさを記したもの ・全国から集められた人やものについての資料・東大寺の方のFAXから話を易しくしたワークシート
6	・鑑真の肖像画・世界をつなぐ交通路図・正倉院の宝物の写真 ・唐招提寺の方のFAXから話を易しくしたワークシート

資料3 授業で活用した資料

第4時で使用した資料

日本歴史災害事典

大宝元年	701	3 丹波地震 8 大宝律令成立、四国から関東にかけて風水害
慶雲 3年	706	慶雲飢饉 この年疫病流行
和銅 2年	709	和銅長雨
3年	710	3 平城京遷都 この年 霖雨、凶作
4年	711	6 旱魃、凶作
5年	712	1 太安万侶、古事記撰上
靈龜元年	715	5 遠江地震、翌日三河地震
養老 4年	720	5 舎人親王「日本紀」(日本書紀)奏上
天平 6年	734	4 天平大地震(震源不詳)
9年	737	夏～秋 天然痘流行
17年	745	4 美濃大地震、この月近江紫香楽宮周辺で山火事頻発

日本歴史災害事典をもとに、
児童が読み取りやすいように
作成したものである。

聖武天皇が生きた時代の災害

西 暦	聖武天皇がいきた時代の災害
701	丹後地震、四国から関東にかけての風水害
706	慶雨飢饉、疫病の流行
709	和銅長雨
710	霖雨、凶作
711	干魃・凶作
715	遠江地震、翌日に三河地震
734	天平大地震
737	天然痘の流行
745	美濃大地震、近江の都周辺で山火事発生

【読み方・意味】

霖雨 りんう 何日も降り続く雨・旱魃(干ばつ) 雨が少なく水不足の状況。

※『日本歴史災害事典』をもとに作成

第5時で使用した資料

児童に、歴史的事象をどのように生かすか考えさせるために、今を生きる人の思いや考えが伝わる資料。

質問についてお答えいたします。

①飛鳥・白鳳の時代からもそうですが、国で自然災害や飢饉・疫病(天然痘)が蔓延するのは、その時代の統治している、天皇や地域を納めている国司は国そのものが、病に侵されていると考えられ、古くから地域の神様や、大陸から伝わってきた仏教の力で、国の天下泰平や統御国家・万民安楽が祈られてきました。東大寺は法隆寺や薬師寺と同じように国家の安泰を祈る祈願所として受け継がれています。最近ではコロナウイルス早期終息を願って宗派や宗教の違いを超えて共に、祈りましょうと正午の祈りがつづけられています。東北東日本大震災や熊本地震やいろんな災害時に義援金を送ったり、現地を訪問して、お話を伺い、鎮魂の法要をさせていただいたり、出来る範囲で活動を続けています。

②千葉県では、上総の国分寺国分尼寺がありましたが、お寺の役目は患田院(病気の治療のための施設)や施薬院(薬を処方したり・塗り薬を渡す)漢方薬を煎じた蒸し風呂(からふろ)や治水灌漑や建てものの建築修理技術も中国や大陸から伝わっていて、当時のお坊さんは、いろんな知識を持っていたようです。天平当時は東京は灘地帯で神奈川の国分寺から房総半島に渡って上総や福島や宮城の国分寺にい

くための要所であったと思われます。

③仏さんの完成して魂を入れる開眼法要がありますが、天平時代の開眼筆 1,5メートルの筆が残っていますが筆先には何もつけずに塗る作法だけ行われていたようです。

④現在の様子具体的に何を指しているのかわかりませんが、コロナ下になりいろんな情報が溢れていて、一喜一憂することが長く続いています。1300年前の人々は、天然痘や飢饉の渦中で、一日一日の生活が無事に終わることまた日が昇る事が、当たり前ではなく、土地の神様や太陽や月の力自然の万物に感謝して、暮らしていたようで、化学が進んだ現代でも解明できない不思議な力が自然界の中には宿っているようです。修学旅行で来た京都・奈良と40代や60代で同じところに来て、見え方が違うという事をよく関東の方はおっしゃります。

答えになったかどうかはわかりませんが、教科書に書かれていない何かを感じていただければ、古の人の思いがわかるかもしれません。

八街市立八街東小学校 館崎 倫久様

東大寺教学執事

これは東大寺の方に FAX にて取材をした際に送り返してもらったものである。児童には内容を易しくしたものを作成し配布した。

第6時で使用した資料

<p style="text-align: center;">送信案内</p> <p style="text-align: right;">2022.6.8</p> <p>八街市立八街東小學校 館崎 様 (全3枚)</p> <p>TEL 043 (443) 0114 FAX 043 (443) 0115</p> <p>件名 「質問について」</p> <p>いつもお世話になっております。館崎様へお返事遅くなりまして、ご心配おかけ致します。</p> <p>宜しくお願い致します。</p> <p style="text-align: right;">唐招提寺 録事 山藤 誠彦 TEL 0742-33-7900 FAX 0742-33-5266</p>	<p>答え</p> <p>①。日本には 仏教の 経典(お経の本)は、伝わっていますが、その中身を 解説できる。先生は、また 海を渡って来ていました。その大先生として、弟子(小先生)と一緒に来てくれました。</p> <p>②。食事の前に手を合わせて「いただきます」といって、道の角とか、橋のあるところに、立っているお地藏様。お地藏様は、正しくは「地藏ほこつ」という仏様です。</p> <p>・薬草の知識や、お味も 鑑真和尚が日本へ 伝えてくれました。</p> <p>③。金堂、講堂や校倉造りの宝蔵、経蔵は、奈良時代の材が 多く残っています。</p>
---	---

④。自分が見たもの、聞いたもの、感じたものを素直に受け取りましょう。たとえば

お花は  とか。

太陽も  こんな風には見えないと思います。みんなと一緒にいる必要はないです。

- ・すべての命を大切にす。
- ・うそをつかない
- ・他人の物を盗らない。
- ・そして、どんな時も感謝して、満足する心があれば、きっと幸せになれる。

唐招提寺 録事 山藤 祥

これは唐招提寺の方に FAX にて質問をした際に送り返してもらった内容をもとにした資料である。こちらも児童には内容を易しくしたものを作成し配布した。

第7時で使用した まとめシート

学習問題	時数	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時	まとめ
<p>聖徳太子の死後、どんな国づくりが行われたのだろうか。私たちが生活に（今の政治に）どのように活かされているのだろうか。</p>	<p>国では</p>						
<p>今では</p>							
<p>どんなことを感じたか</p>							

名前

スーパー 学習問題	時数	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時	スーパー まとめ
<p>聖徳太子の死後、どんな国づくりが行われたの だろうか。また、私たちの生活にどのように活か されているのだろうか。</p>	<p>国では</p> <p>地方では</p> <p>今では</p> <p>どんなこ とを感じ たか</p>	<p>「大化の改新」</p> <p>国を役人が 治める。</p> <p>年号</p> <p>天皇や年号まで 今でも続いているものが あかぬけた。</p>	<p>律令が定められ、 政治の仕組みが 整えられた。</p> <p>印かん、税</p> <p>国の1部だけが 豊かになるのは これからはいほ うかい。</p>	<p>不安定な社会 をたてなおすため 都を移したり、 仏教の力を借り ました。</p> <p>牛馬果にも 牛個分寺、牛 建てられた。</p> <p>お参りをする 文化が残って いる。</p> <p>お参りの文化は これからも続いて いくと思います。</p>	<p>大仏を造るため 行基や渡来人 の力を借りました。</p> <p>材料を運んだ。</p> <p>不安を取り除く ために願い 続けている。</p> <p>行基や渡来人の 力を借りました。 当分の人は、行基 たちに感謝していた と思う。</p>	<p>正しい仏教を 学ぶために、 「唐から鑑真 を呼んだ。」</p> <p>仏教の教えは 習い貫は私たち の生活に 根づいている。</p> <p>いたたけず、けこ たかぬに由来する 仏教に由来する 分かった。</p>	<p>天皇中心の 国づくりを 目指し、その 思いを受け つぎから 何人何人が 努力をして きた。 年号や税、 仏教の教え や習い貫は今 も続いている。</p>

資料4 手立ての有効性に関する考察や変容

① 「歴史を自分たちの身近に感じますか」についての児童の変容

歴史的事象から今と昔の関連について書かれた感想

【A校児童 ノートの感想①】

大化かなず、たう。今の
 命わもなず、たのかなと思
 った。
 元号はすこく昔からあ
 った。元号は、た。

元号のことについて、今と昔の関わりを書いていた。

【A校児童 ノートの感想②】

過去のお税は米だ。たのかすこ
 過去から始ま、元号今もよ
 かるのかすこい
 昔は一つの都で遠
 支配していたの

今の税と昔の税の納めるものが違うことについて書かれていた。

【B校児童 ノートの感想①】

昔はそんふうに作、てるなん
 てすこりと思いました。!!!
 260万人、てすこりですよね!!
 行基さんはすばらしい人だと思
 りました。
 自分も奈良すこく行きたいと思
 てるので、行くきかりがあるば
 大仏見たいなうと思ひます

大仏について学習し、関心をもったことが書かれていた。

【B校児童 ノートの感想②】

国では律令を定め
 て、仕組みを整えた。
 地方でもるいさうを
 うけていた。今でも
 印税などがつながら
 るものがある。

律令が地方に影響を与えていることや、印や税が現在につながっていることについて書いていた。

歴史的事象から今と昔の関連についてシートに書かれた内容

【A校児童シートの内容 ③ ④】

税金はある。
 食料はある。
 たくさん
 今でも回分はのこ
 ている。

東大寺は、国が安全で
 何増除ることかお
 により、祈る 祈願
 所として受つたお
 ている。

【B校児童シートの内容 ③ ④】

やくそうや知識
 もおしえてもらい
 私たちのせいか
 にはふきは
 根かいてる

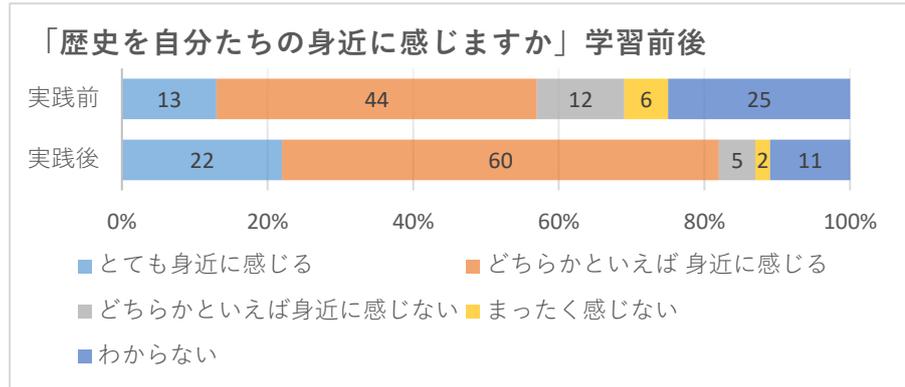
東大寺では災
 害などにな
 くなぶ人を祈
 ている。

学習のまとめのシートに、歴史的事象が今とどう関わっているか書かれていた。

グラフを見ると学習前は歴史を「とても身近に感じる」

「どちらかといえば身近に感じる」児童が、合計57%であった。学習後については、同項目の合計が82%となり児童の意識の変容が見られる。

その要因として考えられるのは、歴史的事象と地域の歴史を補完的に取り入れたこと、まとめの工夫、地域の学習における教材の開発があげられる。児童の感想やシートを見ると国の歴史的事象に対して、今と昔の関連について気づいたことなどが書かれており歴史を自分たちの身近に感じていることがうかがえる。

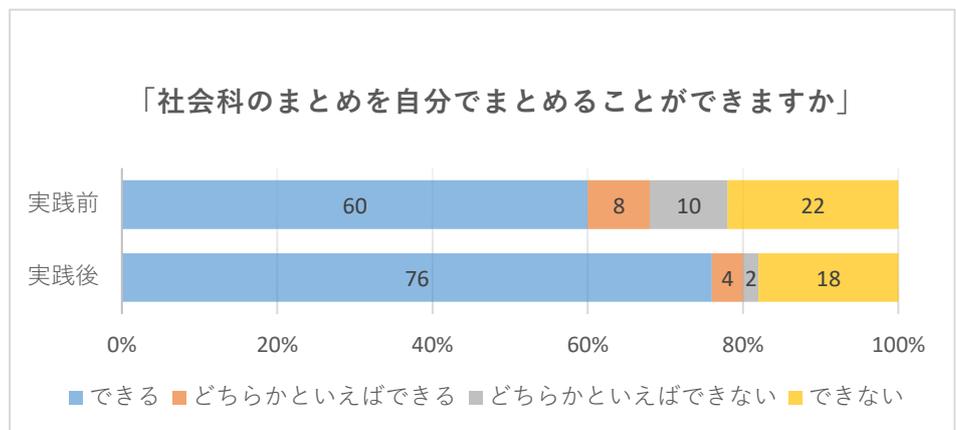


②「社会科のまとめを自分でまとめることができるか」についての児童の考察

まとめることが難しいと考えている児童の支援として、まず、児童がまとめの時に使う言葉を自分で見つけられる板書を心掛けた。国のことだけでなく地方のことも明確に記載をした。まとめを書く際に「どこに書いてあるかな」と声掛けをした。現代との繋がりについては、地方との繋がりを意識させ、それが今どうなっているのか一緒に考えることで到達できるようにした。

学習前は60%の児童が自分達でまとめができるとしていた。今回学習のまとめにおいて、「国では」「地方では」「今では」の3つの言葉を用いたことで、多くの児童はまとめに取り組む際この

言葉を使うことを意識することができていた。学習後のアンケートの結果では「できる」「どちらかといえばできる」が80%を超えたことやノートの変容から、社会のまとめを自分でまとめ、自分たちの生活と関わりがあることを考察することができたと考える。



なぜ歴史を学びかの質問に児童が授業前後で答えたもの

授業前	授業後
日本の文化を学ぶため	自分たちの先祖について知ったり、昔の生活はどうなっていたのかを知るため。
昔の人の辛さをわかるため	歴史を知らないと社会を育てようとしたときに歴史を何も知らないと何もできないからです
昔ながらの今を感じてほしいと思ったから？	昔の人の事を学んで、どのように今に伝わってきたか、どんな社会にしたいのか、考えるためだと思う
昔何があったのか知るため	過去の失敗をや成功を学ぶことによって現在をよりよい生活にする方法につながるから。
昔のことを知るため	長い歴史を身近に感じ、ご先祖様に感謝の心を持つため。
歴史を学んで身近にある文化に親しんでほしいから。	その時代の人々がどんな考えを持って、その行動に至ったのか、どうしてそうしたのかを考え、学んでいくことが大切だから
昔の人が積み上げてきたことを自分たちの子孫につなげるため。	どのように今があるのか知るため、あと昔の人の頑張りを伝えるため。
過去を知り、未来を築いていくため。	昔からある建造物や昔の人の考え方を、今にどう生かすかを考えそして実行し、今の社会につなげていくため
昔のことを学んで、自分の身や国を守るため	将来のために歴史を学んで沢山のことを知るため
昔のことや出来事を感じ取るため。	過去の失敗をや成功を学ぶことによって現在をよりよい生活にする方法につながるから。
昔の話を話したほうが、楽しい、昔何をやってたか。	その時代の人々がどんな考えを持って、その行動に至ったのか、どうしてそうしたのかを考え、学んでいくことが大切だから
自分たちはどのように繋がって今ここにいるのかをよく知るため。	昔のやり方や方法を今に生かせるかもしれないから
歴史を知ることによって将来の自分にもつながるから	昔の〇〇がどのように国をまとめたのかなど様々な歴史を知ることによって、これからの自分の考えなどが変わり、これからの未来に関わるから。そして昔はどれだけ大変だったのかをあらためて考えるため。
自分たちのご先祖がどのように暮らしていたのかを調べて今の自分の生活を見直すため。	

※授業前・授業後不特定児童の抽出

児童がクロムブック内のアンケートに入力したもののだが、授業前の時と比較するとなぜ歴史を学ぶかについて、明らかに変容が見られ一人ひとりがしっかりと意思をもって書いている事がうかがえる。

〈令和3年度の実践〉

資料5 前年度の実践

指導計画

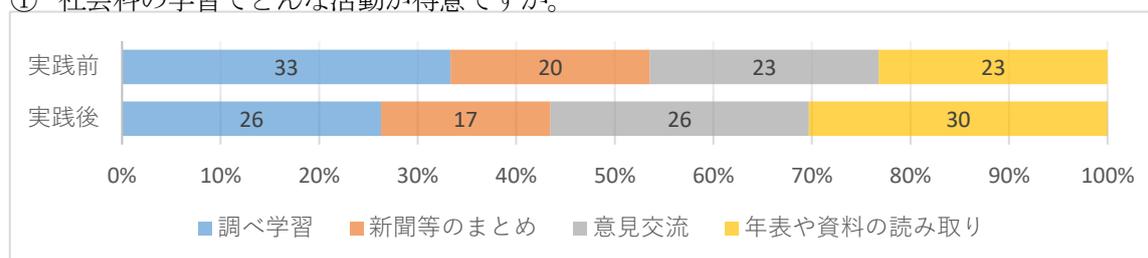
学習過程	時配	学習内容と学習活動		評価規準（評価の観点・評価方法）
見出す	1	歴史上の主な事象	○地域の歴史事象 □自分たちの生活との関わり	<p>社会の様子の変化に着目して問いを見出している。</p> <p><small>（思考力、判断力、表現力等・ノート・発言）</small></p> <p>学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもとうとしている。</p> <p><small>（学びに向かう力、人間性等・ノート・発言）</small></p>
		<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代末ころと明治時代初めの日本橋近くの様子や寺子屋と学校とを比べ、変わったことを調べる。 江戸時代末から明治時代初めの20～30年くらいの間に社会全体に大きな変化が起きたことを明治維新ということ捉え、学習問題をつくる。 		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 江戸時代が終わり、明治時代は国の政治や人々の暮らしは、どのように変わっていったのだろうか。 </div>				
自分で取り組む	1	<p>明治維新を誰が中心となって進めたか調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ペリーの上陸」の絵やペリーや肖像画などから、江戸時代末に起こったことを明らかにする。 開国後に武士たちがどのような思いをもって活動し、世の中がどのように変わったのかを明らかにする。 	<p>○八街の開墾に従事した西村郡司や前山誠一郎らははたらきにより、士族たちが入植し、どのように発展していったのかを関連付ける。</p> <p>□明治維新が自分たちの街の成り立ちに関わっていた。</p>	<p>必要な情報を集め、読み取り我が国が開国したことや、新しい政府が誕生したことについて理解している。</p> <p><small>（知識及び技能・ノート・発言）</small></p>

1	<p>欧米で学んだ大久保利通はどのような国づくりを目指して取り組んだかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい政府がどのように政治を進めようとしたのかを調べる。 ・外国で学んだ大久保利通らが進めた取り組みを調べ、国づくりの特色を話し合う。 ・産業の充実と関連付ける。 	<p>○八街に製糸工場があったことを知り、農閑期の仕事として、収入を増やしたことと関連付ける。</p> <p>□今、養蚕をしている人は見かけないが、農家は今も多い。産業の発達に関わっていた。</p>	<p>必要な情報を集め、読み取り明治政府が行った廃藩置県や四民平等などの諸改革によってできた近代国家としての政治や社会の新たな仕組みを理解している。</p> <p style="text-align: center;">(知識及び技能・ノート・発言)</p> <p>廃藩置県や四民平等などの改革を関連付けたり総合したりしてこの頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、適切に表現することができる。</p> <p style="text-align: center;">(思考力、判断力、表現力等・ノート・発言)</p>
1	<p>文明開化の時の人々の生活の変化を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学制について調べる。 	<p>○川上地区の寺子屋や学校のことを通して斎藤庄右衛門と関連付ける。</p> <p>□自分たちが今、学ぶことができているのはこの時代のはたらきが関係している。</p>	<p>必要な情報を集め、読み取り、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れたことを理解している。</p> <p style="text-align: center;">(知識及び技能・ノート・発言)</p>
1 本時	<p>文明開化の時の人々の生活の変化を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治期の鉄道の写真や全国路線図から当時の交通の様子を調べる。 ・明治時代に八街に鉄道が走っていることに初めの20～30年くらいの間に社会全体に大きな変化が起きたことを明治維新ということ捉える。 	<p>○八街に鉄道が通るのが新橋横浜間から、25年先であるということを表から読み取らせる。</p> <p>○総武鉄道と西村郡司との関わりを関連付ける。</p> <p>□鉄道の走る榎戸新田橋梁ができて百年以上経った今でも使われている。</p> <p>□総武鉄道はJR総武本線に変わり、人々の生活を支えている。</p>	<p>必要な情報を集め、読み取り我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れたことを理解している。</p> <p style="text-align: center;">(知識及び技能・ノート・発言)</p> <p>文明開化を関連付けたり総合したりして、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、適切に表現している。</p> <p style="text-align: center;">(思考力、判断力、表現力等・ノート・発言)</p>
1	<ul style="list-style-type: none"> ・政府の改革に不満をもつ士族の行動を調べ世の中の変化を明らかにする。 ・自由民権運動の特色を 	<p>○西村郡司・士族開拓を行ったことについて確認する。</p>	<p>必要な情報を集め、読み取り自由民権運動が広がったことを理解している。</p> <p style="text-align: center;">(知識及び技能・ノート・発言)</p>

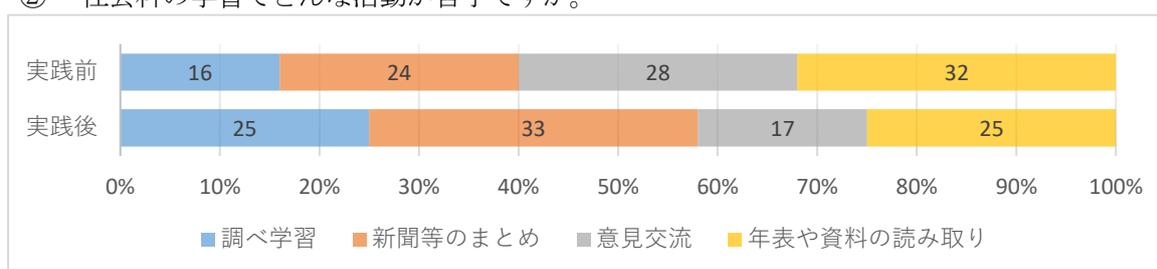
		調べその成果を話し合う。		
	1	<ul style="list-style-type: none"> 国会開設に先立って板垣退助や大隈重信らが行ったことを調べる。 大日本帝国憲法や国会の特色を明らかにし、国の政治のあり方について話し合う。 		<p>必要な情報を集め、読み取り、国会の開設に備えて板垣退助や大隈重信が政党をつくったことや伊藤博文が憲法制定に重要な役割を果たしたことを理解している。</p> <p>(知識及び技能・ノート・発言)</p>
広げ 深める	1	<ul style="list-style-type: none"> これまで調べたことを想起し、多くの人物が明治維新で様々なことを行ったことを年表にまとめる。 年表などを活用し、明治維新で国や社会の仕組みがどのように変わったのかを話し合っ自分の考えをノートにまとめる。 		<p>文明開化などについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等・ノート・発言)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>明治時代は西欧化が進み、国の政治は明治政府中心の政治になった。人々の暮らしは交通や産業が発展し、豊かになるきっかけが作られた。</p> </div>				

資料6 児童の事前・事後アンケート

① 社会科の学習でどんな活動が得意ですか。



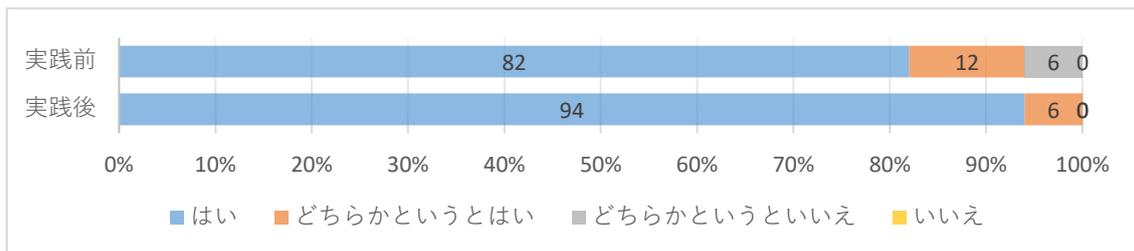
② 社会科の学習でどんな活動が苦手ですか。



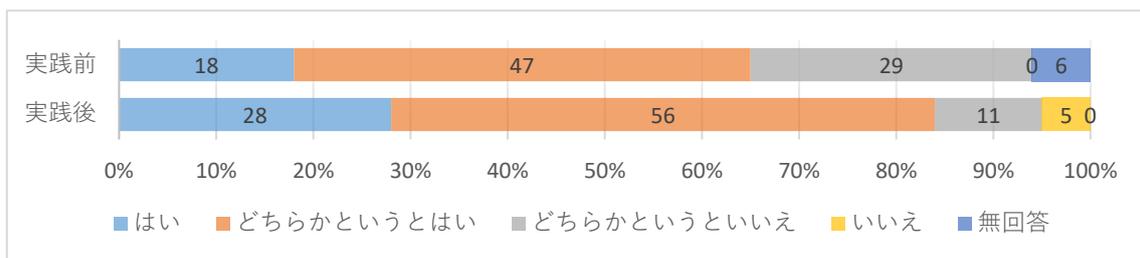
それはどうしてですか。

事前	事後
<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習の時どこを調べてよいか見つけにくい。 ・書く記事を探すのが大変 ・考えに自信がもてない。 ・考えを聞いてもらえない。 ・分からないときに困っている。 ・どう読み取ってよいかわからない。 ・見て考えるけどまとまりきらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えにまだ自信がもてない。 ・分からないときにもう少し友達とかかわりたい。 ・以前よりわかるようになったけど、まだ、難しい。

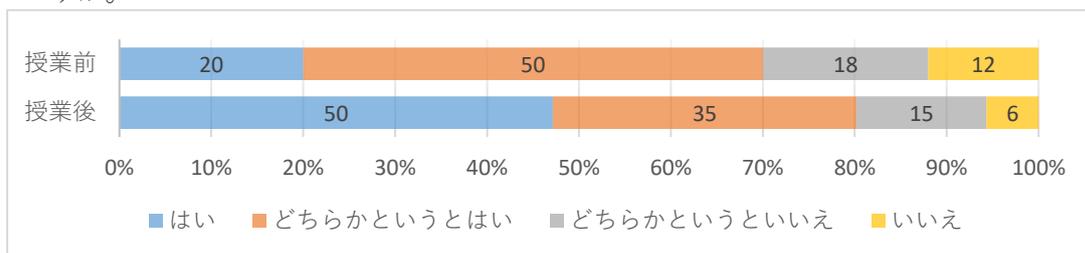
③ 自分の住む地域や千葉県、日本を大切にし、守りたいと思いますか。



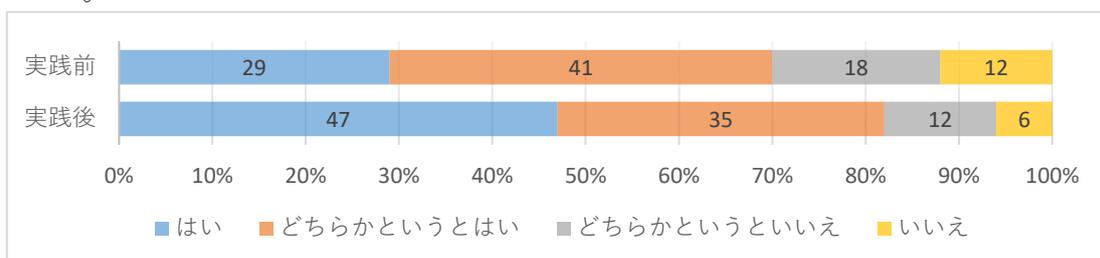
④ 話し合い活動で、自分の考えが広がったり深まったりしていますか。



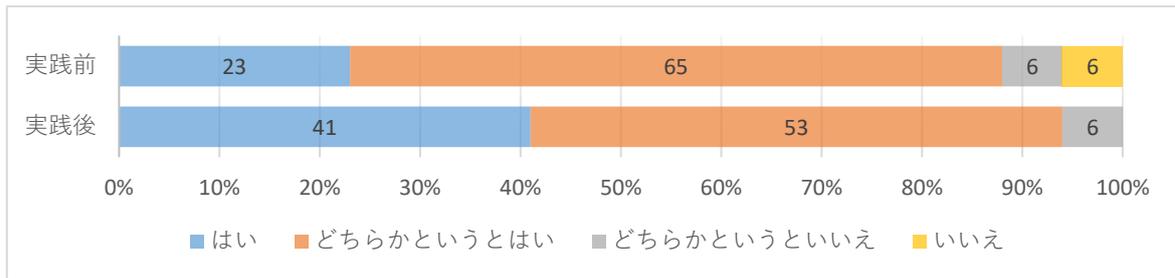
⑤ 調べたことや考えたことを、絵や言葉などを使ってわかりやすくまとめることができますか。



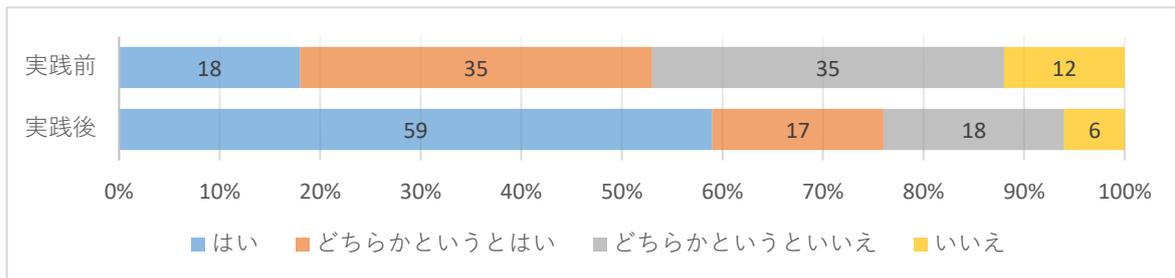
⑥ 社会科で学習したことを、自分の生活に生かしている、あるいは生かそうと考えていますか。



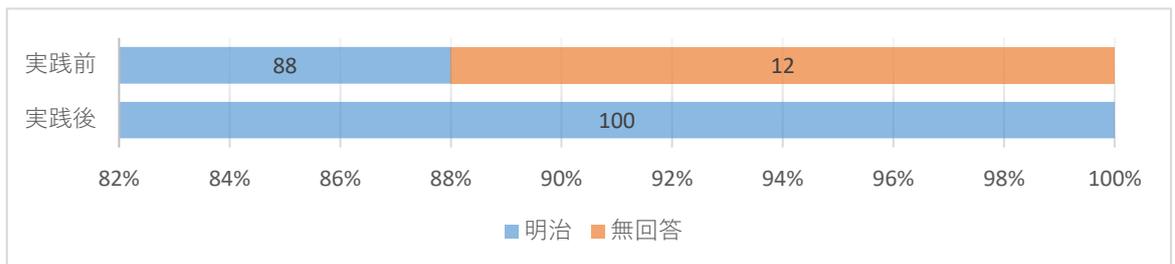
⑦ 調べたいことに合わせて情報を選んで活用することができますか。



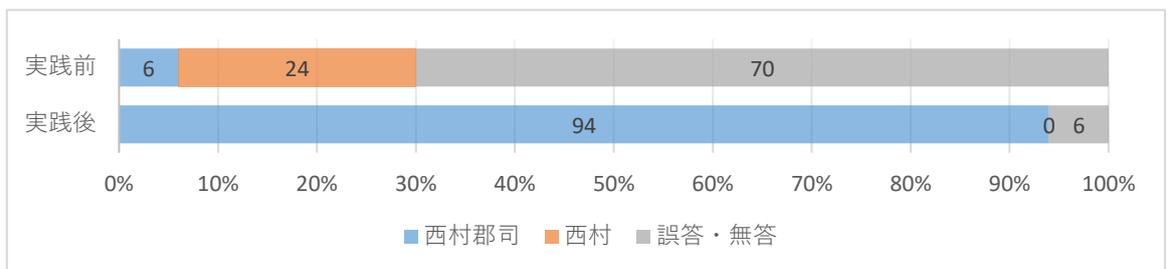
⑧ 表やグラフなどの資料から、傾向や変化を読み取り、その理由や背景を考えることができますか。



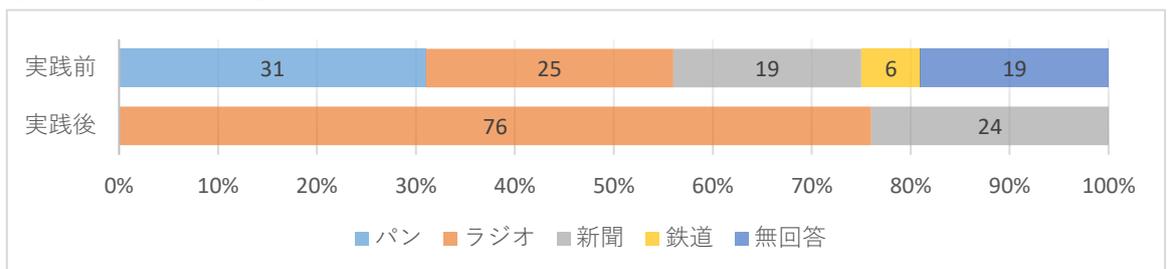
⑨ 江戸の次の年号は何でしょうか。



⑩ 八街の開拓に関わった方です。誰でしょうか



⑪ 明治に伝わったものです。この中で明治に伝わったものではないのはどれでしょうか。



前年度実践の手だて①地域の歴史事象を補完的に取り入れる

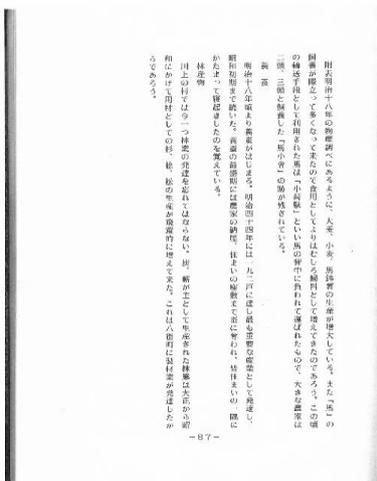
最初児童にとって4年の頃に学習した地域の歴史と明治時代が関係していることに驚いていた。学習を進めると、各時間ごとに地域の歴史との関わりを感想に書いている児童も出てきた。また、本時の終了時には児童から「今も橋は見られるんですね。」という声や、後日「先生直接新田橋梁を見に行きました。」「レンガの橋になっているのがわかった。」という声が聴かれた。次の単元でも、戦時下に八街と何か関わりのある場所がないか質問をしてくる児童が複数見ることができ、歴史的な事象を補完的に取り入れたことは児童にとって大きな成果であったと考える。



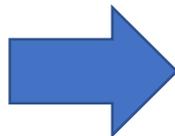
【 本時使用榎戸新田橋梁 】

前年度実践の手だて②各学習時における地域資料の収集

資料の収集については4部会社会科研究部の方達と協力して行った。また、八街市の郷土資料館を活用した。郷土資料館は情報の提供と正確さについても相談に応じてもらった。例えば、こちらから、社会科部の先生方と話していく中であがった鉄道や養蚕について質問すると、場所や説明をもらうことができた。また、八街市の当時の状況をみられる鳥観図や、茶畑を外国に送っていたこと等非常に豊富な情報を得ることができた。児童は事情に関心をもっており、各時間において「今日は八街のどんなことが出てきますか。」「前回の養蚕の場所が、習い事の時に通っている。」という声があった。今回の取り組みから、児童にとって新たに八街のことを知ることができ地域への関心がより深まったといえる。



〈川上小学校より 地域の歴史〉



〈実際に見てきた際に撮影した写真〉

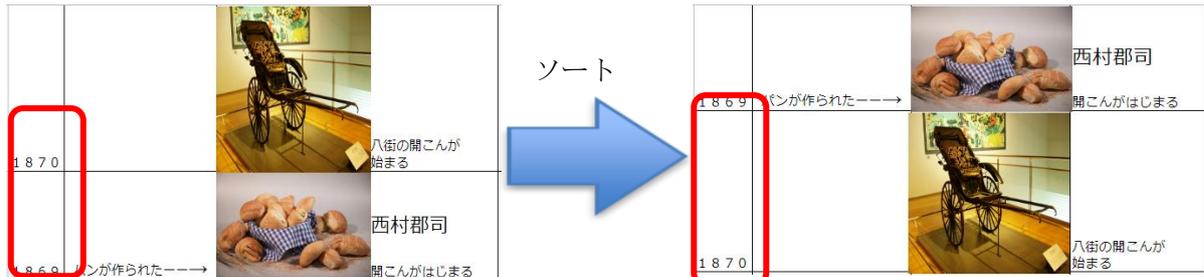
前年度実践の手だて④年表の作成・読み取りにおける ICT の活用

【児童が作成した年表】

児童と過去に年表を作成した際に、書くのが苦手な児童や、歴史的事象を後から付け足すことができず、順番の整理等が難しくなってしまったことがあった。そこで今回は ICT を活用したのだが、下記の支援を行ったことで、年表への整理が行いやすかった。

【行った支援】

- ① ICT 支援員と連携を図り最初の年表作成時に協力を依頼した。またその際ソート機能の活用方法を児童に伝えたことで順番を気にせず、まとめることができた。



- ② 操作が苦手な児童もいるので、データベースを作成しておきそこから選べるようにしておいた。
- ③ 学習を終えて児童自身が自学の時間に大正から先の年表も作成していた。

【児童が作成した年表】

1889	大日本帝国憲法発布		
1890	国会開設		
1892			高砂浦 五郎 養蚕する
1894	陸奥宗光がイギリスと条約の一部を改正する		
1895	日清戦争が始まる		

学習後の児童の変容を見ると、各内容において好きとする児童が増えていた。特に年表の読み取りについて好きとする児童が増えていた。

前年度実践の手だて⑤意見の交流の場として ICT の活用

児童は資料から感じたことをこちらのストリームに記載させるようにした。

児童の中には普段意見を発表することがないことがあったが、その児童を含め全員が毎時入力することができていた。この児童は普段ノートとなるとほとんど書かない児童である。声をかけ学習問題に限定して書くように指導してきた。しかし、この単元における児童は常に意見を入れていた。

【本時で使用した路線図】



-  2021/12/09
九州にはあまり線路がない
-  2021/12/09
北海道はあまり線路がない
-  2021/12/09
来る時間
-  2021/12/09
鉄道の通る場所

この4つのコメントは普段ノートを取らない児童が1つのテーマに入れたものである。

感想にもあるが児童たちもこの状況の中、会話での交流がはかりにくかったため非常にICTを活用した意見の交流は活発なものであった。

【児童の感想A】

みんなと軽くけど意見交換できて楽しかったです:)
自分は絶対に思いつかなそうな意見もあり、見ている面白かったです👍

【児童の感想B】

みんなでコメントしたり資料を見て自分たちの意見をいっぱい話せて楽しかったです。

前年度実践の成果と課題

【成果】

- 本研究を通して、地域の歴史を取り入れ児童にとって歴史を身近に感じることができたことで、次の単元でも多くの児童から、「この時八街ではどうなっていたのか気になったから調べてみたい。」という意見があった。今後中学に進学するにあたり、連携を図ってみるとさらに学びが深まるのではないかと考えている。
- 普段学習において考えを書いたり発表したりすることが苦手な児童が多かったが、ICTを活用することで、多くの場面で気づきや意見を書いたり、発言を促すと自分の考えた理由について発表したりすることができた。

【課題】

- ▲今回の単元で地域の歴史を取り入れ身近に感じることができたが、**歴史を学ぶ意味を考えさせるところまで到達できなかった。**
- ▲ICTの活用については意見の交流で良かった部分が多々見られた。しかし提出した課題がエラーで消えてしまう等、これまでの学習では考えられなかった面も見られたので活用する部分についてはさらに検証を行う必要がある。